

小項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																										
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																									
05	(5) コメディカルに対する専門研修の実施 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理 栄養士等の技術職について、研修等を充実し、 専門技能の向上を図る。	<p>コメディカルの研修会、学会への参加に対して経費的支援 を行い、専門技術・技能の向上を図った。</p> <p>◆コメディカルの研修会・学会参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>5 名</td> <td>6 名</td> <td>5 名</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>18 名</td> <td>9 名</td> <td>11 名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>3 名</td> <td>12 名</td> <td>12 名</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>7 名</td> <td>2 名</td> <td>14 名</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>19 名</td> <td>12 名</td> <td>22 名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>3 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>53 名</td> <td>42 名</td> <td>67 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>主な講習会 (26 年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講習会名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(薬剤部)</td> </tr> <tr> <td>・医薬安全管理責任者講習会</td> </tr> <tr> <td>・環境感染学会</td> </tr> <tr> <td>(臨床検査部)</td> </tr> <tr> <td>・日本医師会精度管理報告会</td> </tr> <tr> <td>・日臨技中部圏支部医学検査学会</td> </tr> <tr> <td>(透析センター)</td> </tr> <tr> <td>・日本透析医学界学術集会・総会</td> </tr> </tbody> </table>	職種	24 年度	25 年度	26 年度	薬剤師	5 名	6 名	5 名	検査技師	18 名	9 名	11 名	臨床工学技士	3 名	12 名	12 名	放射線技師	7 名	2 名	14 名	リハビリ技師	19 名	12 名	22 名	管理栄養士	1 名	1 名	3 名	計	53 名	42 名	67 名	講習会名	(薬剤部)	・医薬安全管理責任者講習会	・環境感染学会	(臨床検査部)	・日本医師会精度管理報告会	・日臨技中部圏支部医学検査学会	(透析センター)	・日本透析医学界学術集会・総会	III		コメディカルの研修会や学会参加に対する支 援は今後も継続されたい。
職種	24 年度	25 年度	26 年度																																											
薬剤師	5 名	6 名	5 名																																											
検査技師	18 名	9 名	11 名																																											
臨床工学技士	3 名	12 名	12 名																																											
放射線技師	7 名	2 名	14 名																																											
リハビリ技師	19 名	12 名	22 名																																											
管理栄養士	1 名	1 名	3 名																																											
計	53 名	42 名	67 名																																											
講習会名																																														
(薬剤部)																																														
・医薬安全管理責任者講習会																																														
・環境感染学会																																														
(臨床検査部)																																														
・日本医師会精度管理報告会																																														
・日臨技中部圏支部医学検査学会																																														
(透析センター)																																														
・日本透析医学界学術集会・総会																																														

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																									
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床工学技士会 (中央放射線部) ・マンモ撮影認定技師更新講習会 ・被曝相談員認定講習会 (リハビリテーション部) ・呼吸介護手技講習会 ・循環器疾患に関する理学療法の基本となる 考え方 (栄養部) ・県栄養士会病院部研修会 ・日本病態栄養学会 																																																											
09	(1) 待ち時間の改善等 待ち時間等の実態を把握し、総合的な待ち時間対策に取り組む。	<p>○待ち時間対策</p> <p>外来受付を4つのブロックに集約し、円滑な受付体制を確立した。外来患者満足度調査の中で、待ち時間に関する意見が多くみられるため、待ち時間対策として下記事項に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診察の遅れについては、できるだけ正確に診察の進行状況に係る情報を提供 ・看護師による待合室の巡視（患者の急変や気分不快等の早期発見に努める）と患者への積極的な声掛けの推進 ・小児科外来における図書コーナーでの、持ち帰り可能な雑誌等の設置 <p>外来診療待ち時間調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間</th> <th colspan="2">23 年度</th> <th colspan="2">25 年度</th> <th colspan="2">26 年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>46</td> <td>85</td> <td>48</td> <td>77</td> <td>67</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>1～30 分</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>30～60 分</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>60～90 分</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>90 分以上</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th>23 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	待ち時間	23 年度		25 年度		26 年度		人数	%	人数	%	人数	%	なし	46	85	48	77	67	81	1～30 分	—	—	10	16	12	14	30～60 分	7	13	1	2	4	5	60～90 分	1	2	1	2	0	0	90 分以上	0	0	2	3	0	0	待ち時間	23 年度	25 年度	26 年度					III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>外来受付を4つのブロックに集約したことなどに伴い円滑な受付体制を確立し、待ち時間の改善が認められたことは評価できる。</p> <p>IIIのまま</p> <p>年度計画どおり、待ち時間の改善を実施した。</p>	<p>「IV」</p> <p>外来受付を4つのブロックに集約したことなどに伴い円滑な受付体制を確立し、待ち時間の改善が認められたことは評価できる。</p>
待ち時間	23 年度			25 年度		26 年度																																																							
	人数	%	人数	%	人数	%																																																							
なし	46	85	48	77	67	81																																																							
1～30 分	—	—	10	16	12	14																																																							
30～60 分	7	13	1	2	4	5																																																							
60～90 分	1	2	1	2	0	0																																																							
90 分以上	0	0	2	3	0	0																																																							
待ち時間	23 年度	25 年度	26 年度																																																										

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価						評価委員会の検証					
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項						自己 評価	論 点	検 証 (案)			
		・再診患者	人数	%	人数	%	人数	%					
		なし	142	69	166	77	228	81					
		1～30分	—	—	56	16	47	17					
		30～60分	34	17	7	2	7	2					
		60～90分	25	12	1	2	0	0					
		90分以上	4	12	2	3	0	0					
10	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <p>患者からの環境改善要求については、可能な限り改善に努めるとともに、全室個室化をはじめ利便性を高めた新病院を活用し、患者のプライバシーとアメニティの確保に配慮した快適な院内環境を提供する。</p> <p>また、治療効果を上げるため、栄養管理の向上及び患者の病態に応じた個別対応食の促進に努める。</p> <p>新病院移転後は、総合窓口を設置して常時職員を配置し、総合案内や多岐にわたる相談受付の窓口を充実させる。</p> <p>清掃業務について、責任を明確にして機動</p>	<p>◆病院の新築移転(H26.5.1)により、全室個室化、免震構造、屋上ヘリポートの整備など患者に対する医療サービスの向上を図ることができた。</p> <p>◆患者サービス向上委員会では、ご意見箱からの意見などを院内の掲示板でフィードバックしているほか、院内環境改善についての要望など委員会等で検討し改善に努めた。</p> <p>◆玄関の清掃だけでなく、病院周辺の清掃も患者サービス向上委員会が主体となって病院及び河川敷周辺の清掃をおこなった。(4/23 80名、10/9 69名)</p> <p>◆個別の栄養管理のために「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について患者訪問を実施。患者に食事内容をより理解していただくと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事の提供を実施した。 (個別職対応)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養管理計画書作成件数</td> <td>1,820件</td> <td>1,867件</td> <td>1,706件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※24年度から医師指示分のみを実施</p> <p>◆新病院移転後は、総合窓口を設置し、常時職員を配置したことにより、多岐にわたる相談内容の第一義的な窓口となった。また外来診療エリアのワンフロア化によって、導線が明確になり、外来患者にとっての利便性が向上した。</p> <p>◆苦情・要望等の業者窓口担当を固定することにより、清掃スタッフ全体への周知を図った。その回答については必ず病院担当へフィードバックし、迅速な対応を実現すること</p>		24年度	25年度	26年度	栄養管理計画書作成件数	1,820件	1,867件	1,706件	IV		引き続き、全室個室の利点を生かした病院運営を期待したい。
	24年度	25年度	26年度										
栄養管理計画書作成件数	1,820件	1,867件	1,706件										

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証											
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)										
	<p>性のある業務委託とすることによって、清潔な院内スペースを実現する。</p> <p>院内コンサート等開催し、入院環境の向上を図る。</p> <p>患者ニーズを踏まえ、院内売店の飲食物やアメニティグッズ等の種類・量を充実させる。</p>	<p>により清潔な院内スペースを維持している。</p> <p>◆26年6月14日度で開催した「病院まつり」では、コンサートや健康相談、栄養・感染防止・摂食嚥下・床ずれ防止・スキンケア等の相談・指導を行った。(来場者数 600名)</p> <p>◆病院内の売店等を多く手がけているコンビニエンスチェーンを採用したことにより、病院特有のニーズにも正確に答えることができている。またスタッフの気配りにより細かなリクエストにも対応している。</p>													
19	<p>(3) 地域の介護・福祉機関との連携の強化 地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関への患者情報の積極的な提供や、退院時カンファレンスの取り組みの強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供に努める。</p> <p>下呂市内の社会福祉士の連携の場へ積極的に参加する。</p> <p>慢性腎臓病（CKD：chronic kidney disease）予防に取り組む地域との連携を強化する。</p>	<p>○下呂地域脳機能低下予防研究会の設置 下呂市（地域包括センター）、下呂市医師会及び薬剤師会と連携し、「認知症早期発見のための下呂式簡易知能評価手法」や「予防リハビリ」について検討を行うことにより、地域における「早期認知症予防システムの構築」を目指した。</p> <p>○ケア会議の実施 病棟看護師からの会議開催依頼に加え、ケアマネージャーからの依頼が増えている。26年9月より地域包括ケア病棟を開設し、在宅復帰に向けた地域との連携を図っている。</p> <p>ケア会議実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90件</td> <td>104件</td> <td>110件</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、皮膚・排出ケア認定看護師による褥瘡ハイリスク患者ケア加算をH25.2.1から算定、適切な褥瘡予防・総合的な褥瘡対策を継続している。</p> <p>褥瘡ハイリスク患者ケア加算件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	24年度	25年度	26年度	90件	104件	110件	25年度	26年度			III		<p>認知症の早期発見の取り組みやCKD予防は、下呂温泉病院の特色ある地域連携であるため、今後も継続されたい。</p>
24年度	25年度	26年度													
90件	104件	110件													
25年度	26年度														

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証								
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	論 点	検 証 (案)						
		348 件	350 件									
		<p>○継続看護連絡会議の実施 今年度は新病院移転、地域包括ケア病棟開設などに伴い、継続看護連絡会議のあり方、支援方法について検討した。特に、既存の退院支援プログラムの見直し、外来通院中からの継続的な支援方法の見直しを行った。継続看護連絡会議の件数は昨年度より減少したが、病棟、外来共に継続看護に対する意識は向上している。</p> <p>継続看護連絡会議実施回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77 件</td> <td>128 件</td> <td>68 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○CKD予防に取り組む地域との連携 平成26年度は5ヶ月間、内科外来にてCKDでeGFR30以下の患者のリストアップを行いながら指導等の介入を行った。 eGFR30以下の受診患者数は63名、5ヶ月間の延べ患者数では116名の診察が行われていた。この情報は透析室看護師とも共有を行った。 リストアップされた患者の中から、特にeGFR20未満の患者には生活状況の把握や指導等を行った。介入を行ったのが5ヶ月間で34回、その内当院で作成した在宅療養ハンドブックを活用したケースが15件あった。 現在はまた受診患者の現状把握のみ実施、地域との連携にまでは至っていない。</p>		24 年度	25 年度	26 年度	77 件	128 件	68 件			
24 年度	25 年度	26 年度										
77 件	128 件	68 件										
20	<p>(1) へき地医療の拠点的機能の充実 広大な診療面積と飛騨川水系に沿った細く長い距離を有するという特徴のため、病院という施設医療のみでは住民の健康を守ることはできないため、総合健診センター部において検診医療の機能充実を図るとともに、さら</p>	<p>平成26年度は、旧下呂町（6地区）の住民検診を当院で実施することにより健康診断率の向上と予防医療の推進を図った。その結果、下呂市がん検診等で約1,000人受診者が増加し、収益面での増収を図ることができた。また労働者のために、「日曜検診」を2回開設し、約30名の受診者を受け入れた。</p>		IV		<p>下呂市がん検診や下呂市特定すこやか健診における受診率が著しく増加しており、高く評価できる。</p>						

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																												
	に診療所との連携強化を図ることで、予防医学、連携医療を構築し、「生活の場の医療」の完成を目指す。	<p>教職員の特定保健指導に取り組み、健康維持・増進・疾病予防への働きかけを行った結果、実施者は倍増している。</p> <p>平成25年10月からは大腸CT検査、平成26年度から全身MRI検査をオプションとして新設し実施しており、これらにより、地域に資する予防医療の強化を図っている。</p> <p>また、病院経営参画として放射線外来受診者数の増加により、収益が向上した。</p> <p>総合健診センター部 受診者数(単位：名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日ドック</td> <td>1,108</td> <td>1,038</td> <td>1,103</td> </tr> <tr> <td>1日+MRI</td> <td>75</td> <td>69</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>脳ドック</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病予防</td> <td>1,329</td> <td>1,288</td> <td>1,384</td> </tr> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>148</td> <td>362</td> <td>1,107</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定すこやか健診</td> <td>51</td> <td>217</td> <td>654</td> </tr> <tr> <td>定期健診</td> <td>366</td> <td>402</td> <td>470</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウィルス検査</td> <td>-</td> <td>44</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10</td> <td>82</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,097</td> <td>3,514</td> <td>5,053</td> </tr> </tbody> </table>		24年度	25年度	26年度	1日ドック	1,108	1,038	1,103	1日+MRI	75	69	66	脳ドック	10	12	9	生活習慣病予防	1,329	1,288	1,384	下呂市がん検診	148	362	1,107	下呂市特定すこやか健診	51	217	654	定期健診	366	402	470	下呂市肝炎ウィルス検査	-	44	80	その他	10	82	180	合計	3,097	3,514	5,053			
	24年度	25年度	26年度																																														
1日ドック	1,108	1,038	1,103																																														
1日+MRI	75	69	66																																														
脳ドック	10	12	9																																														
生活習慣病予防	1,329	1,288	1,384																																														
下呂市がん検診	148	362	1,107																																														
下呂市特定すこやか健診	51	217	654																																														
定期健診	366	402	470																																														
下呂市肝炎ウィルス検査	-	44	80																																														
その他	10	82	180																																														
合計	3,097	3,514	5,053																																														
33	<p>3)へき地医療拠点病院としての地域医療支援</p> <p>へき地医療拠点病院として地域医療のすべてに取り組むとともに、飛騨南部地域の中心的役割を担い、へき地医療のモデル的病院としてその成果を県内に還元していく。</p> <p>平成26年度も引き続き、検診部門の充実を図ることで、予防医学の充実を目指す。</p> <p>また、新卒看護職員卒後研修や再就職支援研修への地域からの参加を可能とし、看護実践能力の向上を支援する。</p>	<p>総合健診センター部において、平成22年度より下呂市がん検診、特定健診、すこやか健診を実施している。</p> <p>平成26年度は、更に体制を整え下呂市との連携を密にして、地域別健診日を設定し、全ての住民健診を実施可能にするとともに、地域住民の受診率向上を目指した。また、労働者のために休日に健診日を設け実施し、地域に資する予防医療の強化を図った。</p> <p>◆下呂市がん検診の受診状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>148名</td> <td>362名</td> <td>1,107名</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定すこやか検診</td> <td>51名</td> <td>217名</td> <td>654名</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	24年度	25年度	26年度	下呂市がん検診	148名	362名	1,107名	下呂市特定すこやか検診	51名	217名	654名	IV		健診にて異常が認められた方の受診率を高めることができるように努められたい。																																
種 類	24年度	25年度	26年度																																														
下呂市がん検診	148名	362名	1,107名																																														
下呂市特定すこやか検診	51名	217名	654名																																														

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	論 点	検 証 (案)
		下呂市肝炎ウイルス検査	-	44 名	80 名		
39	<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 経営企画機能を強化することで、経営効率の高い業務執行体制を確立するとともに、職員の意見が反映されやすい風通しの良い組織運営に努め、「企業体意識」の向上を目指す。</p> <p>また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員の再雇用に努める。</p> <p>さらに、各種経営分析を行い、その結果を経営に活用する。</p>	<p>毎月最終木曜日開催の管理会議に職員の代表者2名がオブザーバーとして参加。必要に応じ行われる労使間の協議会や意見交換会で交わされた業務や経営に関する意見や提案などを病院運営に反映させ、風通しの良い職場づくりに努めた。【労使協議会回数】15回</p> <p>定年となった職員については、本人の勤務評価・能力等を考慮した上で、病院経営に寄与すると認められる職員(4名)を非常勤専門職として引き続き雇用了。</p> <p>また、月次決算状況を理事長に提出する時には月次のキャッシュフローを添付し、資金の流れや資金量を常に注視する体制に努めた。</p>	III		<p>職員の代表者が参加する会議で意見交換を行うことは非常に重要であり、今後も引き続き開催に努められたい。</p>		
43	<p>職員の勤務意欲を高めるため、職員の実績や能力を職員の給与に反映した公正で客観的な人事評価制度の構築に向けて検討を行う。</p>	<p>意欲をもって働くことができる人事評価制度の構築に向けて、平成26年度も導入に向けて検討を行ってきた。</p> <p>また、職員の実績や資格等に対しても、再評価し、特別昇給により職員のモチベーションが下がらないように行った。</p> <p>看護部においては、クリニカルラダー評価により昇格・昇任特別昇給を実施した。また非常勤看護補助者については、評価表を作成し、自己評価後、師長・部長等面接を行うことにより、勤労意欲向上に努めた。組織が望む能力を示したことで各自振り返り、教育への希望や業務への提案をするなどの姿勢がみられるようになった。</p>	II		<p>看護部における人事評価制度については、一定の努力が認められる。</p>		
52	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率を100%以上及び職員給与費対医業収益比率を60%以下とすることを旨とする。</p>	<p>【経常収支比率】 年度計画の設定比率91.2%に対して、決算では81.6%でと9.6ポイント計画を下回った。</p> <p>【職員給与費対医業収益比率】 年度計画における比率72.9%に対し、決算では83.3%と10.4ポイント増加した。医師確保や看護体制の維持のために必要な人件費に対し、それ見合う収益が得られなかったこと及び病院移転に伴う入院調整による収益の落ち</p>	II		<p>新病院への移転に伴い課題は多いと考えられるが、経常収支比率や職員給与費対医業収益比率の改善について、さらに努力されたい。</p>		

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
		<p>みが増加の要因となっている。</p> <p>来期以降も引き続き経常収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率60%以下を目指して経営努力を続けていく。</p> <p>経常収支比率・職員給与費対医業収益比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>94.4%</td> <td>95.9%</td> <td>81.6%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費 対医業収益</td> <td>79.2%</td> <td>79.2%</td> <td>83.3%</td> </tr> </tbody> </table>		24 年度	25 年度	26 年度	経常収支	94.4%	95.9%	81.6%	職員給与費 対医業収益	79.2%	79.2%	83.3%			
	24 年度	25 年度	26 年度														
経常収支	94.4%	95.9%	81.6%														
職員給与費 対医業収益	79.2%	79.2%	83.3%														